

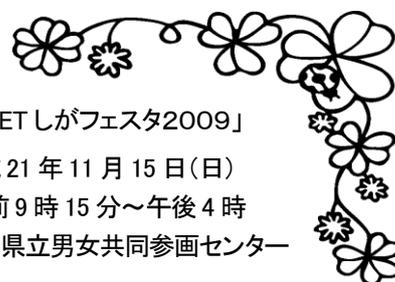
ひとひと
女と男グッドパートナー

つうしん
いきいき通信



VOL. 5

湖南省男女共同参画リポーター・湖南省人権政策課



「G-NETしがフェスタ2009」

日時 平成21年11月15日(日)

午前9時15分～午後4時

場所 滋賀県立男女共同参画センター

ひとひと
「女と男グッドパートナーいきいき講座」

日時 平成21年12月9日(水)午前10時～

場所 サンライフ甲西

講師 永井由美子(島本町教育委員)さん



「自立」するフェスタへ

滋賀県立男女共同参画センター

所長 青地弘子

女性にとって「自立」はさまざまな意味から大変大きな課題です。センターでは、女性の自立を支援する事業を多様に展開していますが、その一つが、66加盟団体の活動発表の場となる、年に一度の今回のフェスタ(注)です。毎年、実行委員会に名乗りを上げていただいた各団体からの代表メンバーによって、その年のテーマから内容まで、自主的に企画され運営され作り上げられていきます。互いの思いを出し合って協議し、悩み合いながら、大きなイベントの成功に向けて一丸になって取り組む姿を目の当たりにして、皆さんの内に秘めた能力に驚くと共に感動しています。究極は「自分が動かなければ何一つ始まらない」ことを、身をもって感じ示していける皆さんの姿に、県はこれからも熱いエールを送り続けていきたいと思えます。

女と男グッドパートナーいきいき講座

「こんなに住う 世界の女性の生き方 生かされかた に、ひがし」を開催しました

平成 21 年 12 月 9 日(水)、午前 10

時からサンライフ甲西で、女と男グッドパートナーいきいき講座を開催しました。講師の永井由美子さんは、通訳業務もされていて、これまで 40 カ国を訪問されています。

講座ではアメリカ、中国、イエメン、北欧といった世界各国の女性たちの生きかた、そして日本の女性の生きかたについて、「講演いただきました。



レジメから

☆アメリカ

不公平とは断固闘う女性たち
履歴書には何を書くの？
男性ができることは女性もやりま
す。

離婚による女性の貧困化が進む先

☆中国

一人っ子政策は女性にとって得か、
損か

進む女性労働力の分化

65歳の高齢者一億人、扶養するの
は誰？

☆イエメン

最貧国では孤独死できない訳
名誉殺人と殺人の違いとは？
女性の職業はこれひとつだけ？

☆北欧

男性の自殺者が多い国の背景にあ
る女性の生きかた
社会保障が進み、苦勞がなくなる
と夢もなくなる？
公園は育児。パパでいっぱい

☆日本

真の男女共同参画の実現に向けて
まだ多い男女役割意識

男性の働きかたに何ら手を加えな
かった均等法

気づきから始まる男女平等の家庭
教育

夫選ひの基準を変えよう

参画先進国の平等教育から学ぶ教
育現場

男女共同参画制定 10 周年に興味
深いタイトル「こんなに違う世界の女
性の生き方、生かされかた」を受講
しました。アメリカ、中国、北欧、イ
エメン、日本と世界各国の女性たち
の現在を聞いて、面白く、一長一短
があることを知りました。その中で
も特に 2 つのことが今すぐ日本も(滋
賀県も)まねてほしいことがありま
した。

一つはアメリカの履歴書は年齢、
男女別、写真がいらないということ。
アメリカ航空の客室乗務員は 60 代、

70 代の女性たちが活躍されている
のはすばらしい。

二つめはノルウエーの小学校の教科
書で、「男女平等の本」の絵です。男
の子も女の子もズボンなのがいい。
女の子はスカートという固定観念を
やめて、どちらでも好きな服にする
べきだと思う。今、小一の孫娘にも
見せたい。パンフレットでした。

その他、日本の女性は大変おとな
しすぎるのとこと。自分も含めてま
ったく同感です。続けて学習をし、知
り、知っていきたいと思っています。



G-NET ながフェスタ2009」参加報告

平成21年11月15日(日)、県立男女共同参画センター(G-NET)しがで開催された「G-NETしがフェスタ2009」に参加しました。表紙にある県立男女共同参画センター所長からのメッセージもご参考にしてください。

参加者20人が輪になって

指・腕の運動、グーチョキパー、グッパ体操。手をつないで腕を振り、リズムにあわせて方向転換遊びなど、一瞬、頭を使いながら手足を交互に動かす運動に、身体全体が熱くなりました。身体が熱くなるのは、血流がよく脳に刺激を与えているため、多少は認知症の予防につながっているのかも…。仲間と大きな声で歌ったり、笑ったりすることが、少しでも脳を若返らせることになればと思いつきながら楽しみました。

寿命革命がおき、100歳まで生きるのがたやすく来る時代が到来するとの話を聞き、長生きする不安を抱きつつ心身ともに健やかな日々をと念じ、会場をあとにしました。



「認知症予防を身近なものにする」

認知症の兆候は発症から8年ほど経つと、周辺症状といって方向がわからなくなり、不安や焦燥感が伴い、焦りが症状として出ます。

たとえば、健常者が見知らぬ土地に迷い込んだとき、不安・焦りなどが起こり、パニックになります。このような心理状態が認知症の症状のひとつのあらわれです。

患者の気持ちを理解してあげる事が大切で、否定しないこと。ただけ症状がひどくなっても、プライドと感情は残っているの、プライドを傷つける言動は慎むべきです。

参加者のみなさんからの感想を一部ご紹介いたします。ありがとうございました。

☆世界の国々の生の女性の様子をおききし、改めて女性として考える時間になりました。

☆男女、年齢ではなく「できるかできないか」が大事だというのが心に残りました。

☆楽しい話術で研修に入り込めた。また、そのなかで多くの情報を得られ、ハッと気づかされることも多くあり有意義であった。

☆グローバルな女性の生き方、生かされ方を聞いて、日本では、当地では?と考えるいい機会になりました。

☆各国のちがいがなど体験に基づいたお話を楽しく聞けました。

次の機会のときには、みなさんもぜひご参加ください。



永井先生の豊富なご体験から世界各国の女性の生き方、文化の違いなどを具体的にお話いただき大変興味深かったです。アメリカや中国の事情は報道にふれる機会も多く、ある程度知っているつもりでしたが、北欧の例などは「福祉制度が充実して住みやすく申し分のない国」と抱いていたこれまでのイメージとかなりかけ離れた実情に驚かされました。

他の国の実情を今回知ることによって自分の国のことに気づき、考えさせられる良い機会となりました。

男女共同参画というと、堅苦しいテーマで敬遠されがちな印象ですが、先生のお話は時折ユーモアを交え、とても解りやすく楽しかったです。こんなお話を男女を問わずもっと多くの市民の方々に聞いていただきたいと思えます。「参加」と「参画」は違うということ、「おかし」と気づいたら行動に移すことが大事」とおっしゃったことが、最も印象に残りました。日々の生活から少しでも心がけたいです。



男女共同参画関連記念日・記念週間

男女共同参画リポーターについて

☆国連

● 11月25日

「女性に対する暴力撤廃国際デー」

● 3月8日

「国際女性の日」

☆国内

● 毎年6月23日～29日

「男女共同参画週間」

● 毎年11月12日～25日

「女性に対する暴力をなくす運動」

☆滋賀県

● 毎年10月中旬頃

「男女共同参画社会をめざすパートナーしがの強調週間」

あ と が き

いきいき通信を発行するにあたり、滋賀県立男女共同参画センターの青地所長から原稿をいただくことができました。この場を持ちまして、お礼申し上げます。



2月、バンクーバーで冬季オリンピックが開催されますが、参加選手の男女比率は、ほとんど差がなくなりました。しかしながら、スポーツ界の団体役員は、まだまだ男性のほうが多いようです。平成21年度「女性の政策・方針決定参画状況調べ」(内閣府)によると、日本オリンピック委員会は、27人中女性役員は1人、日本体育協会は28人中女性役員は2人です。

ひとひと
女と男グッドパートナー

いきいき通信 Vol.5

■発行 平成22年(2010年) 月

■編集 湖南市男女共同参画リポーター(川奈部洋子、熊谷由美子、堀明子、森富裕子)

湖南市人権政策課

■連絡先 〒520-3288

湖南市中央1-1

TEL 71-2354

FAX 72-2201

Eメール jinsei@city.konan.shiga.jp

湖南市人権政策課



湖南市人権尊重都市宣言

すべての人は、しあわせに生きる権利をもっています。それが基本的人権であり、誰にも侵されることのない永久の権利です。

わたしたちは、日本国憲法と世界人権宣言の理念にのっとり、一人ひとりの基本的人権を尊重し、あらゆる差別のない心のかよいあう明るいまちの実現を願っています。

自らの人権意識を高め、人権尊重の輪を広げ、明るい住みよい社会を築くため、湖南市は「人権尊重都市」を宣言します。

平成17年12月6日